

森齋相 もりさゝら 實業家、政治家。明治十七年十月、千二百廿其縣生乳

昭和十一年二月一日歿（二八四—一九四）。明治四十二年總務水産株式會

社設立、以降次々諸會社を興し、石灰窒素を始り硫安、サルミニウムの

國産化等重化學工業を展開、二十數社に及ぶ森コンツェルンを形成し

た。大正十二年衆議院議員（當選一回）。

著書『森齋相・捨身主義』（木村英亮編、昭和十二年七月、千白金堂

堂）、『森齋相所論集』（昭和五十九年十月、昭和電工株式會社編刊）

等。

文獻、木村毅著『白石石友—森齋相の人生とその事業（第一部）』（昭

和）千八年一月、千二百四季社）等。

